

科目名		英文法 II (English Grammar II)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第2学年	機械工学科 電気工学科 制御情報工学科 物質工学科 経営情報学科	履修	2単位	—	講義	通年 90分/週	60時間		
担当教員		【常勤】道本 祐子							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル		基本的な英語の文法力と語彙力を養い、英語運用能力を高めることを目的とする。 (1) 基本的な文法項目や文構造を理解できる (2) 基本的な単語・熟語を発音し、書くことができる (3) 既習の語彙と文法を用いて、50～60語程度のまとまりのある英文を作ることができる。							
学習・教育目標		(G)②	JABEE基準1(2)						
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目	英文法 I								
教科書	『総合英語フォレスト Benchmark English Grammar in 25 Lessons』(桐原書店), 『読んで覚える英単語・標準編』金谷憲監修(桐原書店)								
補助教材等	『総合英語フォレスト 6th edition』石黒昭博監修(桐原書店), 『総合英語フォレスト Benchmark English Grammar More Drills』(桐原書店), 『読んで覚える英単語・標準編ワークブック』(桐原書店)								
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	20					20	100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎	◎						/
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○						◎	
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
【学習上の留意点】 ・毎回の授業の最初に行う単語テスト、および、授業後に提出する英作文を課題点として成績対象とする。 ・10月に実施するGTECに向けて、「ライティング」の対策を行う。 【学習上の助言】 ・必ず英和辞典を携帯し、わからない語句はすぐに調べる(基本的に、テキストに出てくる単語はすべてわかっているという前提で授業を進める)。 ・英検(準2級)の受験を推奨する。									

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス はじめに	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。	
2	第8章 態 (1)	・受動態が使われる場合 ・受動態の基本 ・助動詞を含む受動態 を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 30-31の予習・復習
3	第9章 態 (2)	・進行形の受動態 ・完了形の受動態 ・SVOOの受動態 ・SVOCの受動態を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 32-33の予習・復習
4	Plus 態	・疑問詞を使った疑問文の受動態 ・群動詞の受動態 ・say, believeなどの受態を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 34-35の予習・復習
5	第10章 不定詞 (1)	・不定詞 ・名詞的用法 ・形容詞的用法を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 36-37の予習・復習
6	第11章 不定詞 (2)	・副詞的用法 ・SVO+to 不定詞を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 38-39の予習・復習
7	第12章 不定詞 (3)	・不定詞の意味上の主語 ・否定語の位置 ・使役動詞/知覚動詞+O+動詞の原形を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 40-41の予習・復習
8	中間試験		
9	Plus 不定詞 ①	・seem + to不定詞と完了形の不定詞 ・進行形の不定詞 ・受動態の不定詞を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 42-43の予習・復習
10	Plus 不定詞 ②	・自動詞+to不定詞 ・不定詞の注意すべき用法を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 44-45の予習・復習
11	第13章 動名詞	・動名詞 ・動名詞の働き ・動名詞の意味上の主語 ・否定語の位置を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 46-47の予習・復習
12	Plus 動名詞 ①	・受動態の動名詞 ・完了形の動名詞 ・動名詞を使った重要表現を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 48-49の予習・復習
13	Plus 動名詞 ②	・動詞に応じて動名詞が表す「時」が変わる ・目的語に動名詞をとる動詞 ・目的語が動名詞と不定詞で意味の異なる動詞を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 50-51の予習・復習
14	演習	・既習の文法項目と語彙用いた英語演習	別途配布プリント
期末試験			
15	答案返却・解答解説 前期のまとめ	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	テストのやり直しレポート作成

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	第14章 分詞 (1)	・現在分詞と過去分詞 ・名詞を修飾する分詞 ・分詞構文の否定語の位置を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 52-53の予習・復習
17	第15章 分詞 (2)	・SVO＋分詞 ・使役動詞＋O＋分詞 ・知覚動詞＋O＋分詞を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 54-55の予習・復習
18	第16章 分詞 (3)	・分詞構文の形と働き ・分詞構文の意味 ・分詞構文の否定語の位置を理解し、理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 56-57の予習・復習
19	Plus 分詞	・完了形の分詞構文 ・分詞の意味上の主語を明示する場合(独立分詞構文) ・慣用的な分詞構文を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 58-59の予習・復習
20	第17章 比較 (1)	・原級・比較級・最上級 ・原級を使った比較 ・比較級を使った比較を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 60-61の予習・復習
21	第18章 比較 (2)	・最上級 ・最上級を使った比較 ・原級・比較級を使って最上級の意味を表すことを理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 62-63の予習・復習
22	Plus 比較	・原級・比較級を用いたさまざまな表現を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 64-65の予習・復習
23	演習	・既習の文法項目と語彙用いた英語演習	別途配布プリント
24	中 間 試 験		
25	第19章 関係詞 (1)	・主格と目的格 ・所有格を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 66-67の予習・復習
26	第20章 関係詞 (2)	・前置詞と関係代名詞 ・what ・限定用法と継続用法を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 68-69の予習・復習
27	第21章 関係詞 (3) Plus 複合関係詞	・関係詞where/when/why/how ・関係副詞の継続用法 ・複合関係詞を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 70-71の予習・復習
28	第22章 仮定法 (1)	・直接法と仮定法 ・仮定法過去 ・仮定法過去完了を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 72-73の予習・復習
29	第23章 仮定法 (2) Plus	・wishの後の仮定法 ・as ifの後の仮定法 ・未来のことを表す仮定法 ・ifの省略を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 74-75の予習・復習
	期 末 試 験		
30	試験返却・解答解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	試験解説により、間違った箇所を理解する。 後期の学習事項のまとめを行う。	テストのやり直しレポート作成
総 授 業 時 間 数			60 時間